電動トルク試験機専用ソフト TNT_DSP セットアップ手順書

1. 準備

ご使用のパソコンの環境を確認し、付属CDをCDドライブに挿入してください。

2. TNT_DSP_v＊＊＊.msiファイル インストール

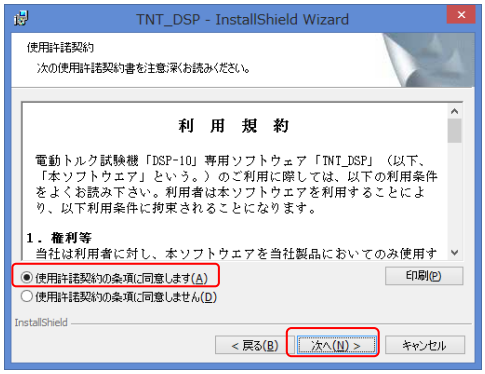
付属CD内のファイル「TNT_DSP_v＊＊＊.msi」をダブルクリックし、以下の手順でインストールを行ってください。

TNT_DSP_v***.msi

①

「次へ」をクリックし、次の画面へ進みます。

②



利用規約をお読み頂き、「使許諾契の条項に同意します」にチェックを入れてください。
「次へ」をクリックし、次の画面へ進みます。

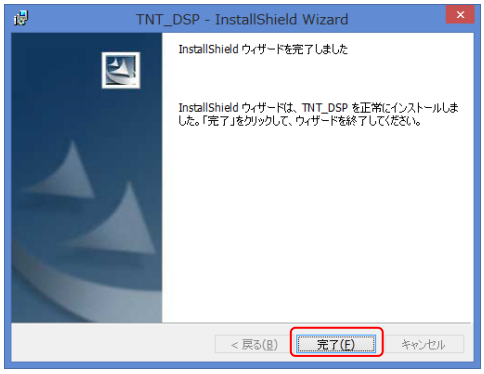
③

「ユーザ名」、「所属」を入力し、
「このコンピュータを使用するすべてのユーザ」にチェックを入れてください。
「次へ」をクリックし、次の画面へ進みます。

④

「インストール」をクリックすると、
インストールを開始します。

⑤



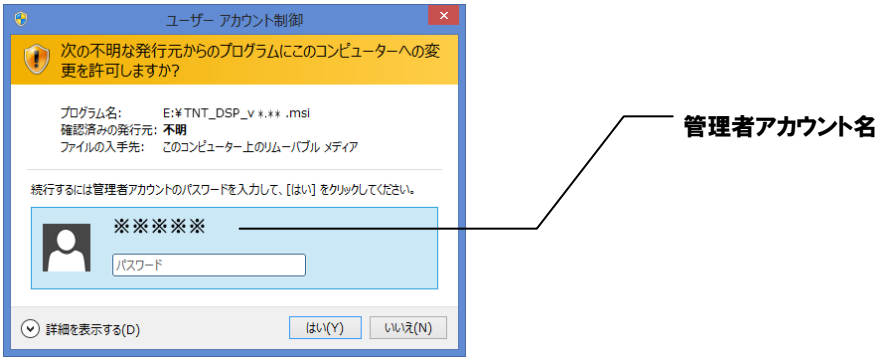
「完了」をクリックし、インストールが完了します。

●標準ユーザ権限でインストールを行う場合について

管理者権限でログオンしていないユーザーアカウントで本ソフトをインストールする場合、インストール時に下記の画面が表示されます。

管理者アカウントのパスワードを設定している場合はパスワードを入力して「はい」をクリックし、インストールを続行してください。

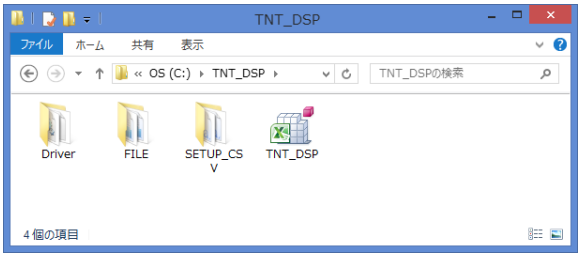
※ パスワードを設定していない場合は、パスワード入力欄をブランクのまま「はい」をクリックしてください。



● ファイル構成

TNT_DSP のインストールが完了すると、ローカルディスク(C:)¥内にフォルダ「TNT_DSP」が作成されます。その中に「TNT_DSP.xla」ファイル、「Driver」フォルダ、「SETUP_CSV」フォルダ、「FILE」フォルダがあることを確認してください。

+	TNT_DSP.xla	:	Excel アドインソフト (TNT_DSP)
+	Driver	:	USB ドライバフォルダ※
+	SETUP_CSV	:	設定ファイル※
+	FILE	:	試験結果保存用フォルダ※



※本ソフトを正しく動作させることができなくなる可能性があるため、Driver フォルダ、SETUP_CSV ファイル及び FILE フォルダの内容変更や移動は絶対に行わないで下さい。

3. USB ドライバインストール手順

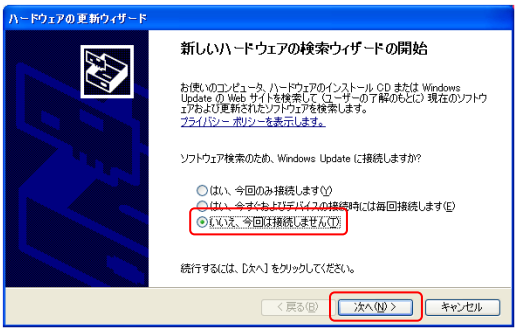
DSP-10 の電源を入れた状態で、USB ケーブルを PC の USB ポートに挿入してください。

ドライバのインストール方法については御使用の PC 環境によって若干異なります。

下記の PC 環境に合わせてインストールを行ってください。

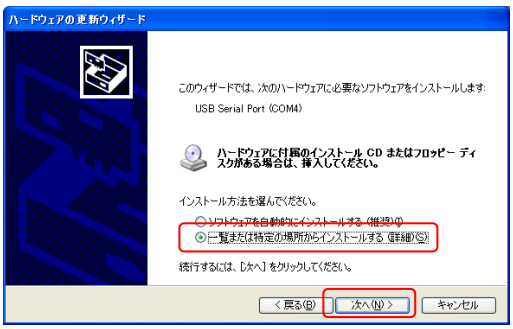
①WindowsXP の場合

①



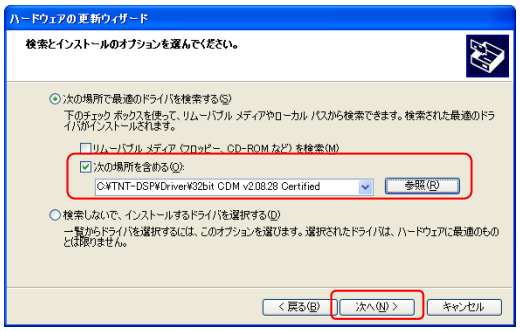
PC と DSP-10 を接続すると上記画面が表示されますので、
「いいえ　今回は接続しません」を選択し「次へ」をクリックしてください

②



「一覧または特定の場所からインストールする」を選択し、
「次へ」をクリックしてください。

③



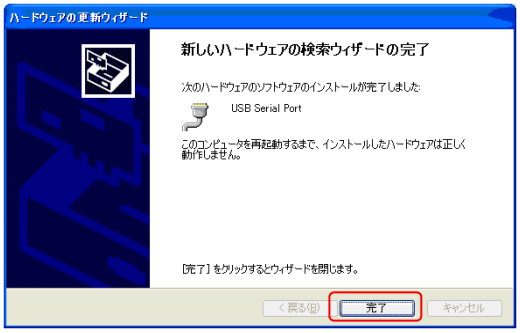
「次の場所で最適のドライバを詮索する」、「次の場所を含む」
にチェックし、OS の種類に応じて下記フォルダを選択してください。

- 32bit OS ： C:¥TNT_DSP¥Driver¥32bit CDM v2.08.28 Certified
- 64bit OS ： C:¥TNT_DSP¥Driver¥64bit CDM v2.08.28 Certified

④

ドライバのインストールが開始されます。

⑤



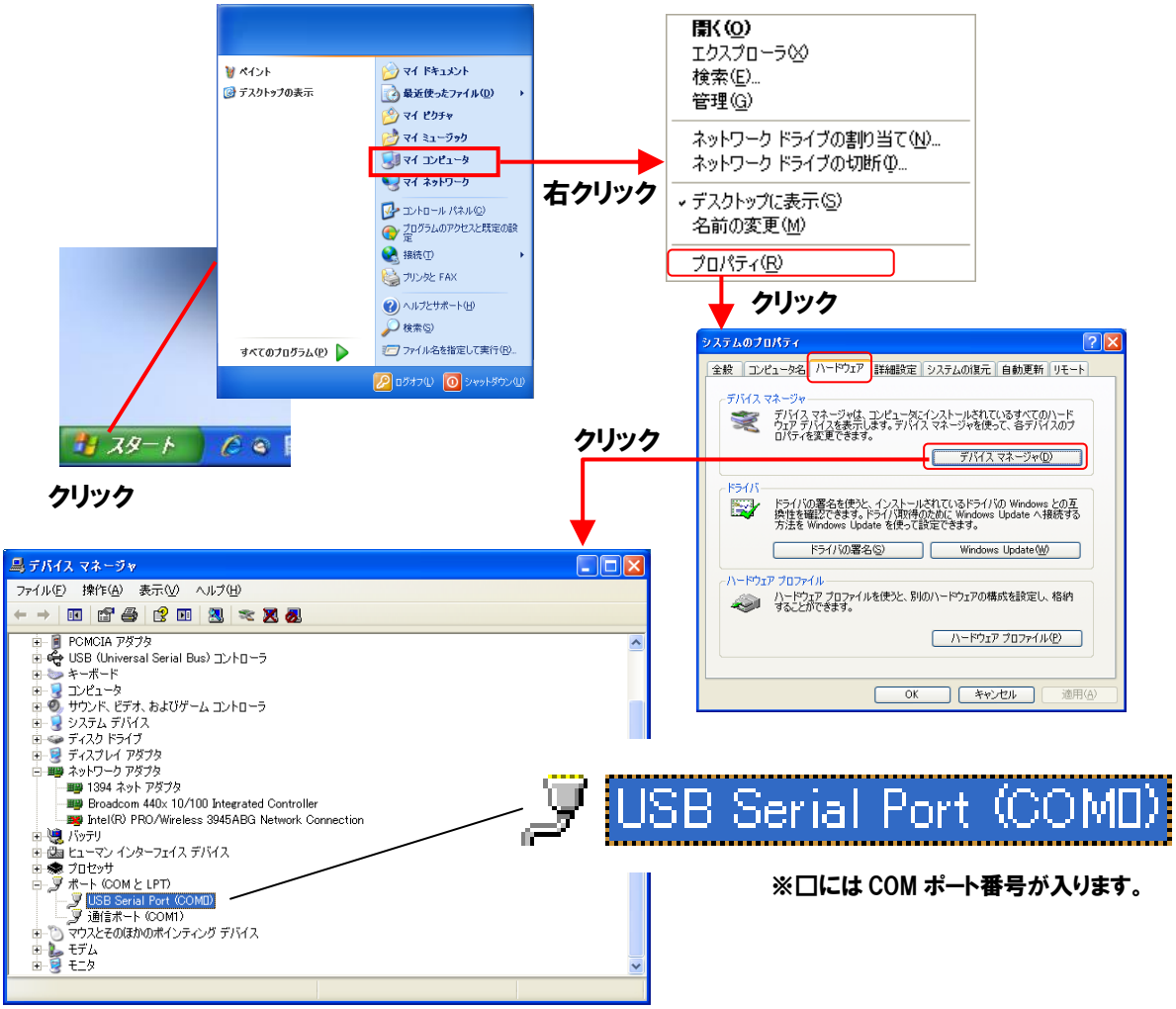
「完了」をクリックすると、ハードウェアの検索ウィザードが終了します。

自動的に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されない場合は、
「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→
「デバイスマネージャ」を開き、「不明なデバイス」と標記されているデバイスの
プロパティから「ドライバ」→「ドライバの更新」を選択すると、
上記のハードウェア検索ウィザードが開始されます。

●COM ポート番号の確認

割り当てられた COM ポート番号は、デバイスマネージャより確認できます。

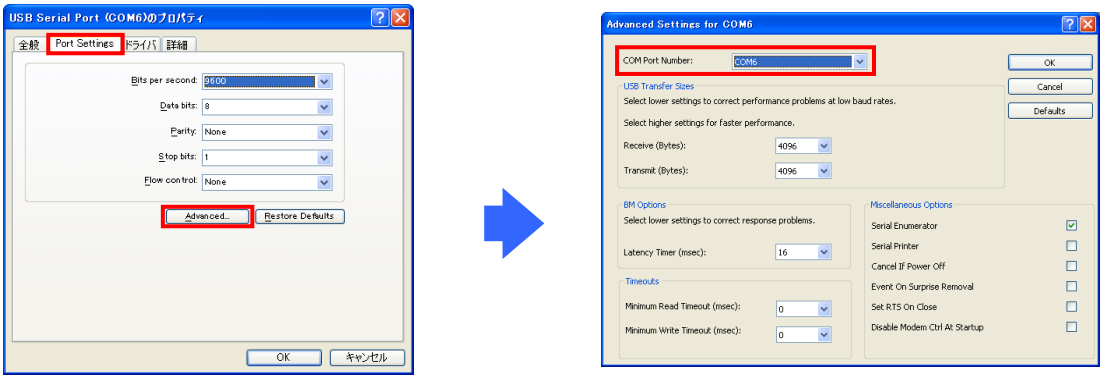
TNT_DSP 起動時の COM ポート番号選択では、デバイスマネージャに表示されている COM ポート番号を選択してください。



※□には COM ポート番号が入ります。

●COM ポート番号の変更

COM ポート番号が COM1～15 で無い場合、COM ポート番号を変更する必要があります。デバイスマネージャ画面の「USB Serial Port」の上で右クリックし、プロパティの「Port Setting」より「Advanced」を開き、「COM Port Number」を変更してください。



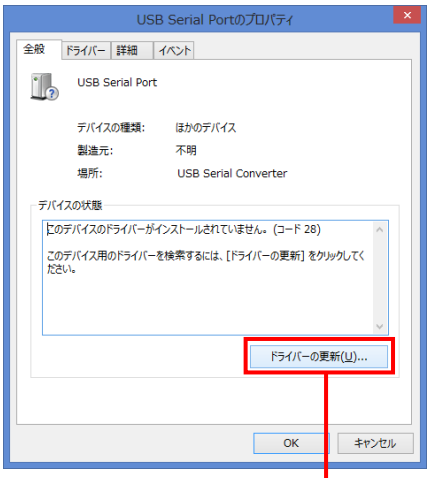
②Windows7、8 の場合

DSP-10 の電源を入れた状態で、USB ケーブルを PC の USB ポートに挿入して、「デバイスマネージャー」を表示してください。

● Windows7 の場合

● Windows8 の場合

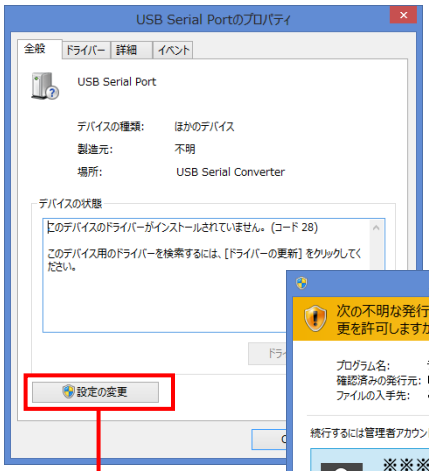
●管理者権限でログオン時

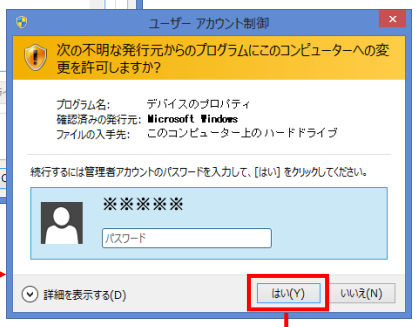


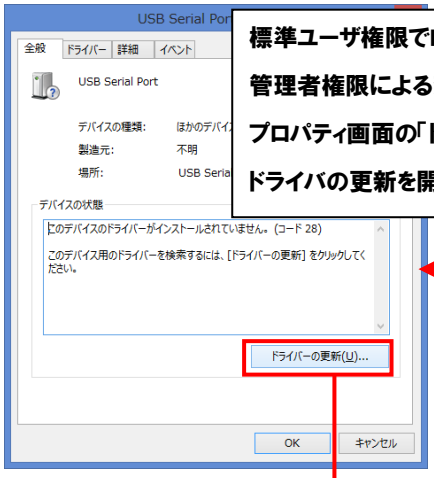
プロパティ画面の「ドライバの更新」を選択し、

ドライバの更新を開始してください。

●標準ユーザ権限でログオン時





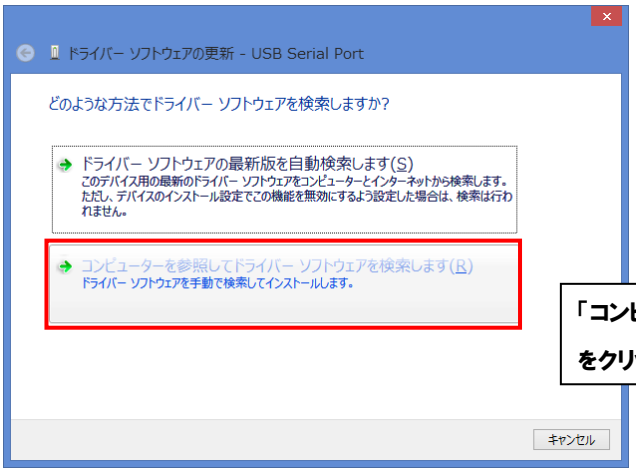


標準ユーザ権限でログオン時は、

管理者権限による変更許可を実施した後に

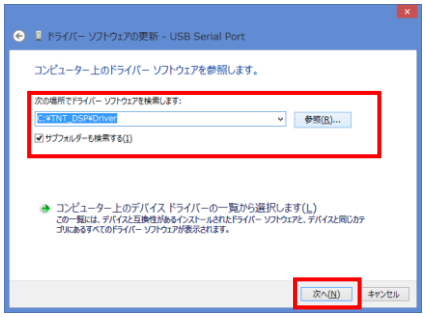
プロパティ画面の「ドライバの更新」を選択し、

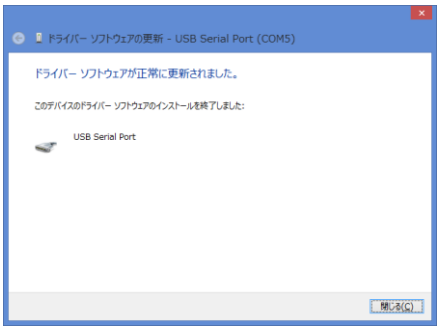
ドライバの更新を開始してください。



「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します。」

をクリックし、次へ進んでください。





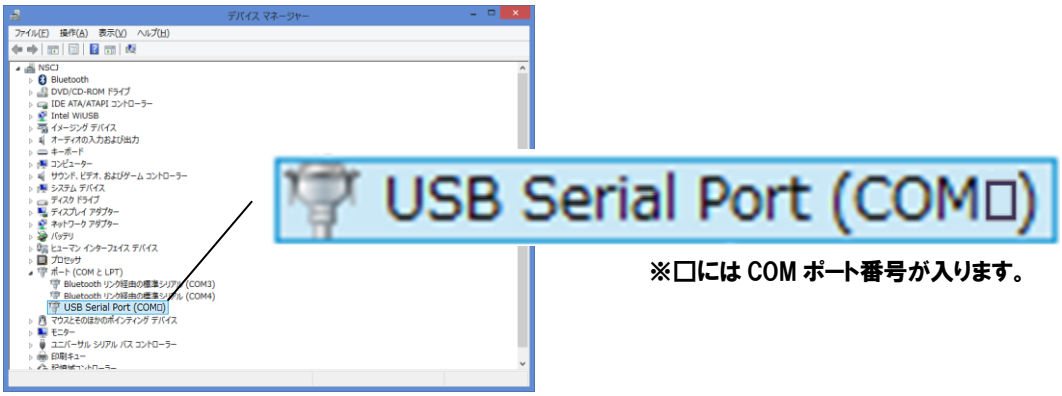
「参照」から「C:¥TNT_DSP¥Driver」を選択し、
「次へ」をクリックしてください

インストールが完了すると上記画面が表示されますので
「閉じる」をクリックして終了してください

●COM ポート番号の確認

割り当てられた COM ポート番号は、デバイスマネージャーより確認できます。

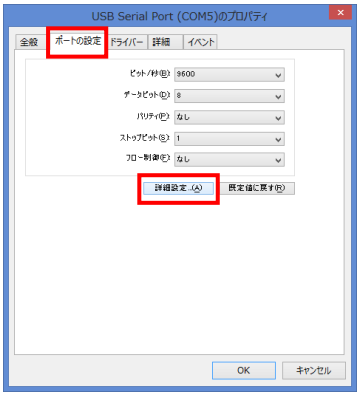
TNT_DSP 起動時の COM ポート番号選択では、デバイスマネージャーに表示されている COM ポート番号を選択してください。



※□には COM ポート番号が入ります。

●COM ポート番号の変更

COM ポート番号が COM1～15 で無い場合、COM ポート番号を変更する必要があります。デバイスマネージャー画面の「USB Serial Port」の上で右クリックし、プロパティの「ポートの設定」より「詳細設定」を開き、「COM ポート番号」を変更してください。



COM1～COM15 の中から (in use) の
表示が無いものを選択します。

電動トルク試験機専用ソフト「TNT_DSP」を使用する場合は、TNT_DSP の初期設定画面において、ここで設定した COM ポート番号を選択してください。

以上で、パソコンのセットアップは完了です。

電動トルク試験機「DSP-10」及び電動トルク試験機専用ソフト「TNT_DSP」の使用方法については、別紙「電動トルク試験機「DSP-10」取扱説明書」、「電動トルク試験機専用ソフト「TNT_DSP」取扱説明書」をご参照ください。